兵庫県議会 自由民主党議員団

令和2年度実績報告書
（平成30年度～令和元年度）

我々の覚悟

発行:兵庫県議会自由民主党議員団　住所:〒650-8567　神戸市中央区下山手通5丁目10-1
電話:078-341-7711（内線5090）　FAX:078-351-0772　E-mail:info@jimin-kengi.org

検討資料

誇りある兵庫に向かって

私たち兵庫県議会自由民主党議員団は、兵庫県議会で過半数を占める最大会派・責任政党として、県当局と切磋琢磨しながら兵庫県政をリードする重責を担ってきました。

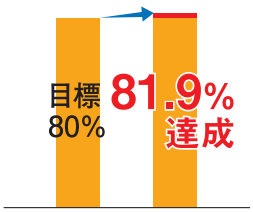
新型コロナウイルス感染症は地域経済や県民生活をはじめ、さまざまな分野で深刻な影響を与えています。今年は阪神・淡路大震災から25年という大きな節目にあたり、あの大震災を乗り越えてきた兵庫だからこそ、未曽有の危機にあっても地域が活力を持って自立し、県民が将来への希望を持てる未来をつくっていかなければなりません。

人口減少や少子高齢化が本格化する中で時代の潮流に機敏に対応し、コロナ禍を克服する総合的な対策はもちろん、一つひとつの政策課題に真摯に取り組み、着実に成し遂げていくことが「もっと好きになる兵庫」の実現につながるものと確信しています。

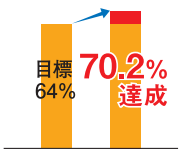
ふるさと兵庫の発展と県民の皆さまの限りない幸せを切に願い、一丸となってまい進していく覚悟です。

この1年間の主な実績

若年層への就職支援

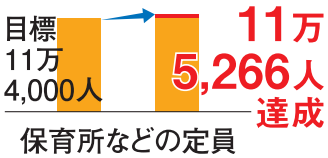


若者（25～39歳）の有業率



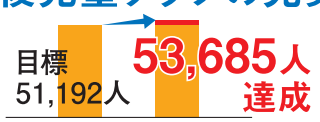
女性（30～39歳）の有業率

待機児童の解消へ 受け皿整備



保育所などの定員

「小1の壁」※解消へ 放課後児童クラブの充実



放課後児童クラブの利用者数

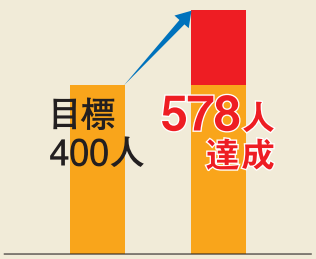
※小学校入学を機に保護者が仕事と育児を両立することが困難になる

立ち向かうべき課題

- 進行する人口減少、偏在化への対応
- 東京一極集中の是正
- さらなる地域の活性化
- 農林水産業での担い手育成
- 防災・減災対策と安全・安心の確保

など

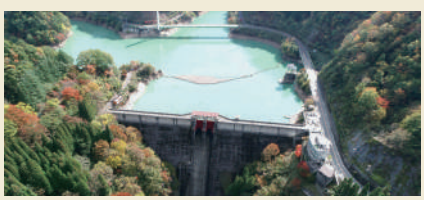
若者の就業への意識向上へ



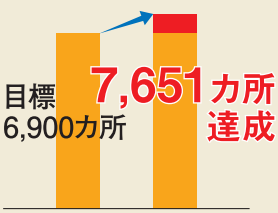
大学生の インターンシップ参加者数

ハード整備 引原ダム再生へ 事業着手

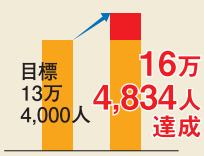
宍粟市波賀町の引原ダム再生事業を令和2年度から実施することを決めました。



介護予防・重症化防止

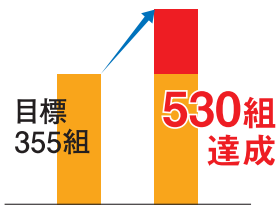


介護予防のための住民主体の通いの場の設置数



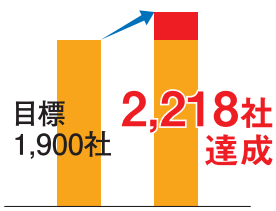
参加者数

男女の出会い・結婚支援



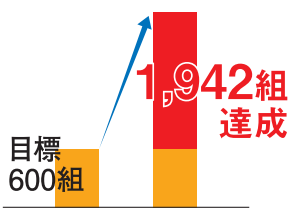
出会い支援事業などによる成婚者数

女性が働きやすく、子育てしやすい職場づくり



宣言企業数

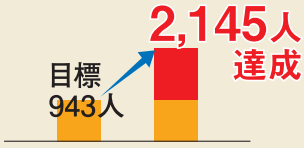
地域祖父母モデル事業※



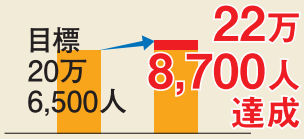
マッチング数

※子育て世帯とシニア世帯をマッチングし、シニア世代が日常的な見守りや相談などを実施

移住・定住の促進

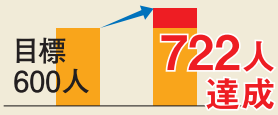


移住施策によって
県外から転入した人の数



都市住民など外部からの交流人口数

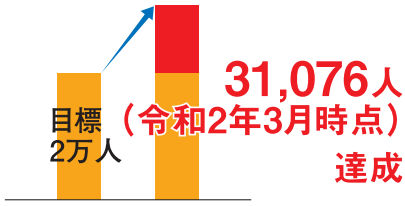
県が支援した UJIターン就職者数



カムバックひょうごセンターでの移住相談件数

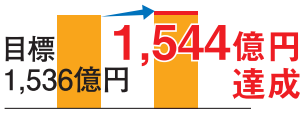
ひょうご仕事と生活センターの地域拠点を尼崎・姫路の2カ所で開設。

ひょうごe―県民制度※の登録者数



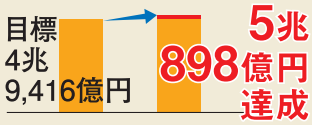
※兵庫にゆかりのある人が対象で、登録すれば兵庫県に関する各種情報が提供される

農林水産業の振興



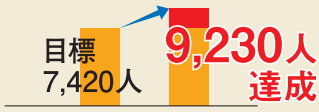
農業産出額

地域産業の振興



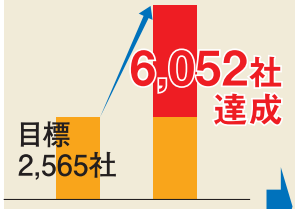
製造品付加価値額

商工業分野



企業立地によるしごと創出数

次世代産業の育成



次世代産業
高度化
プロジェクトの
参画企業数

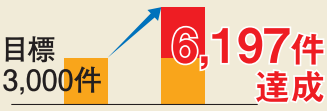
2,073人の雇用を創出!

若者や女性など
多様な主体による
起業を支援

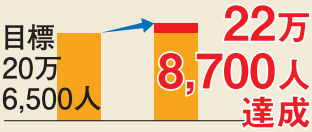
960人の雇用を創出

「もっと好きになる兵庫」の実現へ 力強く

既卒者相談センターの相談件数

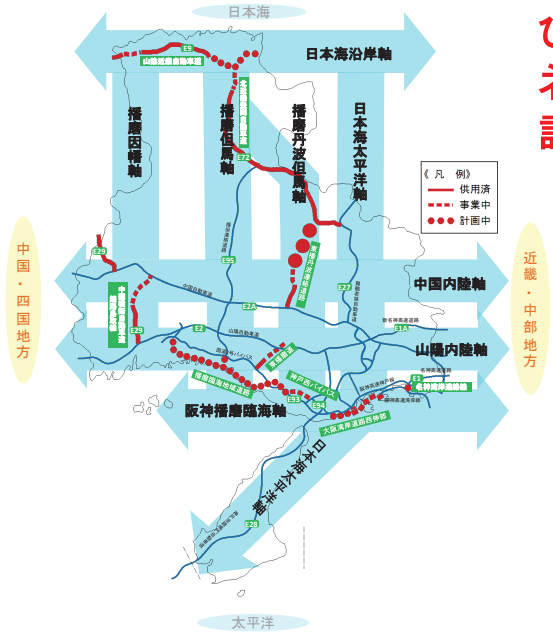


地域間交流の拡大



地域再生大作戦に取り組んでいる
地区への交流人口

大学などと連携した地域創生の活動者数



ひょうご基幹道路ネットワーク、整備基本計画の確実な実施

基幹道路 八連携軸の整備

- 山陰近畿自動車道
- 名神湾岸連絡線、大阪湾岸道路西伸部、神戸西バイパス、播磨臨海地域道路
- 中国横断自動車道姫路鳥取線
- 北近畿豊岡自動車道
- 東播磨道、東播丹波連絡道路

新型コロナウイルス感染症対策　主な特色と成果

フェーズに応じた機動的な補正予算を編成

国の交付金などを活用し、通算8回にわたって総額約7,714億円の補正予算を編成しました（12月11日現在）

新型コロナ対策 補正予算をフェーズに応じて編成

2月補正予算 5.0億円
コールセンターの設置など

3月補正予算 27.8億円
入院・外来医療体制の強化、生活福祉資金の拡充など

4月補正予算 3916.3億円
感染拡大防止対策の強化、医療・検査体制の充実、地域産業・県民生活の支援など

6月補正予算 1120億円
医療提供体制のさらなる充実、ポストコロナ社会の基盤づくりなど

7月補正予算 473.3億円
感染症対策の充実・強化、地域経済の早急な活性化・地域の元気づくりなど

9月補正予算 1900億円
10月補正予算 216億円
季節性インフルエンザの流行期への備え、生活の安定化と経済活動の回復

12月補正予算 12.38億円
県立加古川医療センター内への重症専用病棟の整備、感染拡大特別期への警戒、医療・検査体制の強化など

重症病床を含む感染者病床数を確保

「自宅療養者ゼロ」を堅持

軽症者用の宿泊療養施設を確保

季節性インフルエンザとの同時流行への備え

- インフルエンザと新型コロナの同時流行を見据えた外来・検査体制の拡充
- かかりつけ医などを「発熱等診療・検査医療機関」として指定。身近な医療機関で相談・受診できる体制を構築

十分なPCR検査体制の確保

- 保健所を介さずにPCR検査ができる地域外来・検査センターを拡充
- 無症状の濃厚接触者や希望する妊婦も対象に拡充

兵庫経済・元気回復までの道のり

事業継続と感染症対策を両立しながら経済活動を支援

経済活動が縮小した中で事業継続を下支え

- 事業継続支援（中小法人100万円など）
- 資金繰りや緊急雇用などのセーフティネットなど

感染症対策と両立する経済活動の再開と新しい生活様式への対応

- 事業者、医療・福祉施設の感染症対策
- 新しい生活様式への適応
- テレワークの推進
- 需要回復を見据えた体制の維持

本格的な経済再開とコロナ後の新常態を捉えた新たな展開

- 公共事業の拡充など総需要対策
- 商店街や県産ブランドなどで消費喚起対策
- 情報インフラの整備・新産業の育成
- 国内サプライチェーン網の構築